

二百作品が集結!

今年、七十四名の個性溢れる

Coming Art 2020

第11回埼玉県障害者アート企画展

natural born up-and-Coming Artists



着地できない思いが
ぐるぐると頭の中を
巡ります。

芸術とは、表現とは、

2020年12月2日(水) — 6日(日) | 10時~17時 | 入場無料

埼玉県立近代美術館 | 第1展示室

主催:埼玉県障害者アートネットワーク TAMAP±O、社会福祉法人みめま福祉会 共催:埼玉県、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会

後援(予定):上尾市、春日部市、川口市、川越市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、さいたま市、白岡市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、東松山市、蓮田市、日高市、本庄市、三郷市、毛呂山町、吉見町、嵐山町、JR東日本大宮支社 協力:アートセンター集協力委員 助成:令和2年埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業 キュレーション:中津川 浩章

みんなで つくる展覧会!

埼玉県の「障害のある方の表現活動状況調査」では、毎年、「これってアート?」と思われる表現からベテラン作家の新作まで実に多彩な作品が集まります。その調査票をもとに埼玉県障害者アートネットワークTAMAP士Oでは、福祉や美術などの様々な視点を交えて議論を重ね、本展の出展作品を選考しています。

動画配信 YouTube

会期中、本展キュレーターの中津川浩章氏と新潟市美術館館長の前山裕司氏による展覧会の様子や作品を紹介するギャラリートーク、アーティスト紹介などを「工房集youtubeチャンネル」にて配信予定です。



会場

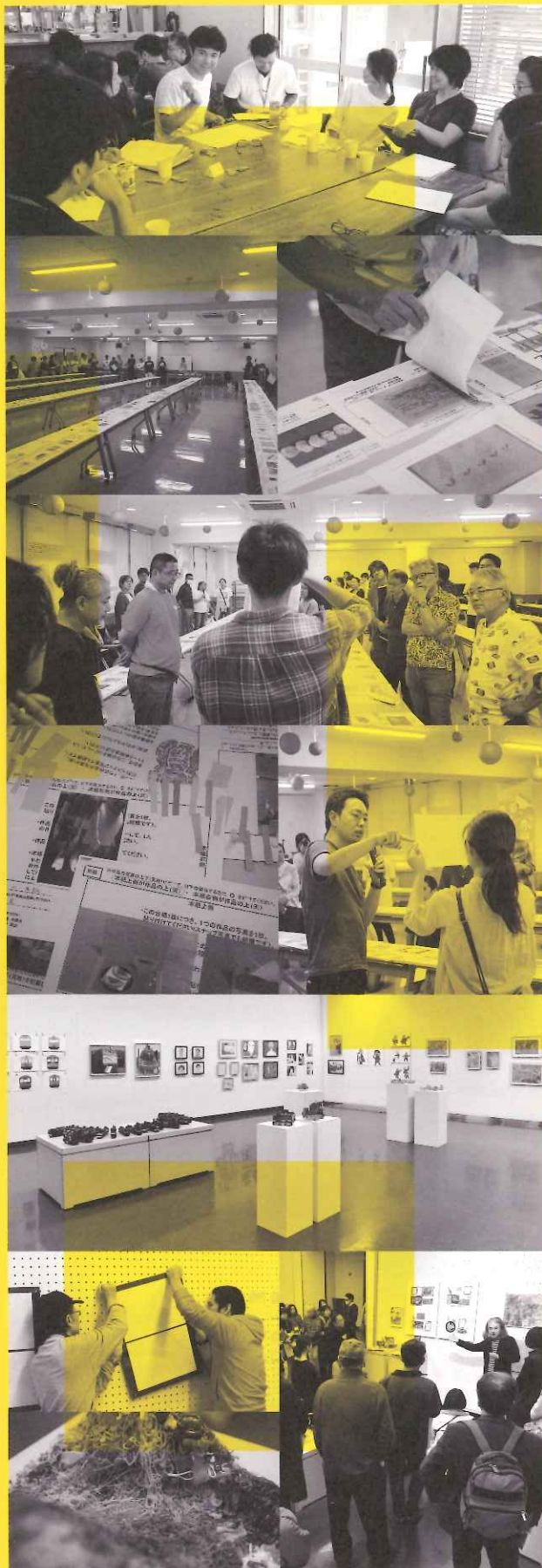
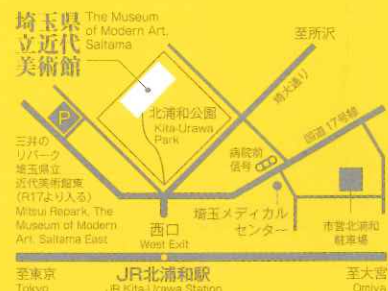
埼玉県立近代美術館
一般展示室1(地下1階)

埼玉県さいたま市浦和区
常盤9-30-1

Tel:048-824-0111

※JR京浜東北線北浦和駅西口より
徒歩3分(北浦和公園内)

※駐車スペースがないためお車の場合は
予め周辺駐車場をご確認ください。



2019年度の活動より

本展キュレーター 中津川浩章

これは芸術なのか、単なる表出なのか、あるいは無意味な行為の反復なのか? 読めそうで読めない象形文字のような絵画。線描の小さなかたまりだけがぼつんと紙の隅に描かれたドロ잉。自宅で人知れずずっと作り続けてきた人形たち……芸術とは、表現とは? 着地できない思いがぐるぐる頭の中を巡ります。本展は、埼玉県内で表現活動を行っている30ヶ所以上の福祉施設が協働し作り上げてきたプロジェクトです。障害がある人たちと日常的に接している福祉の現場から見えてくるもの。できないことが多い中で何かを達成した時の大きな喜びや希望。言葉によらないコミュニケーション。何が失われ、何が豊かに存在するのか。支援員たちのサポートとかかわりの中ゆつくりと成長してきた数々の表現。「一人ひとりの「生きる」というメッセージ……」深く関わるものにはわからない痛みや怒り、そして言葉にしがたい多くの思いがこの展覧会に反映されています。

お問い合わせ

アートセンター集

(社会福祉法人みめま福祉会 工房集内)

Tel:048-290-7355

Fax:048-290-7356

E-mail:kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

URL:http://artcenter-syu.com

